

2025年度

事業報告書

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

1 事業の成果

1. 子どもの権利、特に参画の権利保障のための子どものサポート事業
2. 社会貢献活動に関心が高い子どもへのキャンプ事業、スタディーツアー開催
3. 『知る』を基軸とした、チェンジメーカー教育プログラム（子ども若者が、社会課題に向き合い解決に向けたアクションを起こしていくサービスマーケティングプログラム、おとな向けにそのスキルを提供）を全国の学校や自治体、青少年団体に対して展開。学校や自治体での出前授業や講演、教材開発、情報発信、イベントを実施。
4. 事業目的を共にした団体との連携事業、子どもの権利条約フォーラムの事務局を担当
5. 社会貢献活動をさらに広めるためのイベント、チェンジメーカー・フェスの実施
6. 自立支援事業として、パートナー団体との連携、訪問

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 654,614 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子ども主体事業	FTCJ アンバサダーによる企画のサポート	1～12月	世田谷区、全国	3人	主に日本の子ども	71人	3,145
子ども活動応援事業	社会貢献にむけアクションを起こす子どもの育成事業、メンバーサポートなど	1～12月	全国	7人	主に日本の子ども	2,201人	14,298
外部ネットワーク事業	他組織と連携して政策提言活動や、世論喚起活動。	1～12月	議員会館、都内、全国	4人	主に日本の子どもとその家族	17,200人	8,215
アドボカシー事業	社会問題、国際問題を伝える活動(出前授業、講演会、教材作成HP更新、イベント実施など)	1～12月	全国	7人	国内の子ども、家族、教職員、自治体職員	62,976人	18,662
アドボカシー事業	社会貢献活動の輪を広げるためのイベント、チェンジ・メーカー・フェス実施	1～12月	全国	4人	主に日本の子ども	150人	3,699
自立支援事業	インド・フィリピン・ケニア・国内貧困家庭の支援	1～12月	インド・フィリピン・ケニア・日本	4人	自立支援対象者家族・子ども	海外支援地域の家族、子ども2,184人 国内256人	6,625

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)



2026年度 第22期 総会資料

**2025年1月1日～12月31日
事業報告書**

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

Email: info@ftcj.org

URL : <https://www.ftcj.org>

1. 2025年度 事業を実施して

2025年度、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、国内外で子ども・若者の声を社会に届けるための取り組みを一層進めた一年でした。こども基本法の施行を受け、子どもの意見を聴くことが国や自治体の責務となった今、私たちは全国の自治体と連携し、子どもの意見聴取のための研修や、実際に子どもたちから声を聴く取り組みを数多く実施しました。

こうした活動を通じて、子どもの声を丁寧に聴き、受け止め、地域の計画や事業に反映していくことの意義を改めて実感しました。一方で、子ども自身が「声をあげてもいい」と思えなかったり、自分の意見が社会に影響を与えるという感覚を持ちにくかったりする現状も見えてきました。子どもの声はまだ十分に聴かれていない社会だからこそ、大人が環境を整え、子どもが安心して意見を表明できる場をつくる努力が必要であることを痛感しています。

また、戦後80年という節目の年に、平和や社会課題に向き合いアクションを起こした子ども・若者が集う「チェンジメーカー・ミートアップ」を全国3か所で同時開催できたことも、大きなハイライトとなりました。世代を超えて学び合い、励まし合う姿に、未来への希望を強く感じました。

国際協力事業では、コンゴ民主共和国で収入向上を目的としたヤギ配布事業の開始を予定していましたが、現地では M23 による暴力が激化し、人々が避難を余儀なくされるなど、日常生活すらままならない状況が続きました。そのため、当初の計画を変更し、食料配給を中心とした緊急支援に切り替えて実施しました。世界各地で紛争が続くなか、戦争が子どもたちの生活と未来を奪っている現実を前に、私たちは「戦争を止めなければならない」という思いを一層強くしました。そして、日本にいる私たちにも、国内外でできる行動があることを改めて考えさせられる一年となりました。

2025年度の活動を支えてくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。子どもや若者が自らの声と行動で社会を変えていく力を信じ、その歩みに寄り添い続けることが、私たち フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの使命です。これからも、子どもが「世界は変えられる」と信じられる社会の実現に向けて、皆さまとともに歩んでまいります。



2025年度 事業活動報告

1) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会の提供とサポートの実施

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
FTCJアンバサダー活動 (旧子ども代表委員)	下記の3つを子どもアンバサダーの役割として設定し、2025年度の子どもメンバーに公募した。 ①自らのアクションや「子どもには世界を変えるチカラがある」というFTCJの理念や自身の活動を、SNS、ブログ記事、学校の掲示や行事、イベント開催などで月に1回以上発信する。 ②子どもメンバーの代表として団体の総会に議決権をもって参加する。団体運営について意見のある場合は、事務局に提言を行う。 ③希望者は、子どもメンバーのためのイベントや活動を開催し、子どもファシリテーターとして全国の子どもメンバー同士を繋ぐ活動を行う。 2月 2024年度アンバサダー 文章の書き方講座 3月 2024年度総会・意見交換会に出席 5月 コンゴについての勉強会実施 7月 ウェルビーイング研修 9月 旧アンバサダー振り返り、引継ぎ 10月 2025年度アンバサダー9名が仮就任。顔合わせミーティング 10月 画像投稿作成研修 10月 文章の書き方講座 10月- 研修内容をもとに、毎月の発信活動を開始 11月 発信活動の実施と、内容の共有ミーティング 11月 ファシリテーター研修 12月 9名が正式に就任。 12月 発信活動の実施と、内容の共有ミーティング 1月 発信活動の実施と、内容の共有ミーティング 1月 アンバサダー企画メンバー始動 ▼2024年9月～2025年8月 子どもアンバサダー13名 ※当時の学年 ▼2026年10月～2026年4月（継続希望者は9月まで） 子どもアンバサダー9名	通年	全国	22人	2,000
チーム活動	フェアトレードチョコレート販売を通して、海外支援事業の寄付金を集める「フェアトレードチョコレートプロジェクト（略称チョコプロ）」を実施した。メンバーは1年ごとに公募し、子ども自身が商品名や価格の決定し、学校やイベントでの販売に取り組んだ。 ▼活動内容 1月 オンライン販売開始 2月 せたがや国際メッセや各自学校で販売 3月 超文化祭で販売 4月 多摩ファミリーフェスタで販売 5月 フェアトレード・ラベル・ジャパン渋谷展示で販売 →合計788個販売、106,065円をコンゴ民主共和国南キブ州生計支援事業に寄付。 参加メンバー20名 9月 継続メンバー会議、新メンバー募集 10月 商品名・価格・入荷数決定 11月 せたがや国際メッセや各自学校で販売 →参加メンバー29名	通年	全国	49人	1,115

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

1. 国内の子どもや若者をチェンジメーカーとして育て応援する事業。国際問題や国内の社会課題について学び、問題を解決するためのアクションを企画・実施に取り組めるよう育成や支援をする。
2. 子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会を提供し、その活動をサポートする。

◆助成協力：大東建託グループみらい基金(テイク・アクション・キャンプ、We are the MOVEMENT)

デロイトトーマツ ウェルビーイング財団(ティーンボイスプロジェクト)

日本財団(子どもの権利条約フォーラム全体会子ども企画)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	▼テイク・アクション・キャンプの実施 日本にいる子どもや若者が社会課題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ場を提供した。 夏(8月)：4日間プログラムを実施 47名参加 冬(12月)：2日間プログラムを実施 16名参加 ※経済的な課題を抱える家庭の子どもへのスカラシップ制度(無料招待)の実施については、国内子ども支援事業(5)にて別途報告	夏8月 冬12月	夏 国立中央青少年交流の家 冬 高尾の森わくわくビレッジ	63名	2,480
	▼次世代リーダー教育インターンシッププログラム 子どもたちが安心してできる環境を作り、意見を引き出すファシリテーターを育成した。	2月～ 12月	オンライン 国立中央青少年交流の家、高尾の森わくわくビレッジ	16名	1,368
	▼SDG4教育キャンペーン政策提言を行う子ども若者育成 SDG4教育キャンペーンを通じて、全国から集まった18名の子ども・若者が政策提言に必要な知識と視点を身につけられるよう育成し、政党や省庁との意見交換の機会を創出した。	3月～8月	オンライン、対面 (主に東京)	18名	2,500
	▼Every Child's Voice(ティーンボイスプロジェクト) 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスを子ども若者自身が振り返り調査し提言をできるようコンソーシアム(共同事業体)を国立成育医療研究センターと一般社団法人Everybeingと共に活動。8月25日に東京都内にてこれまでの活動家らの学びと今後の活動の視座をとりまとめたイベントを実施した。また、こうした学びをオンラインで発信できるようにとりまとめた。	1月～ 12月	東京、オンライン	16名	1,500
メンバー活動サポート	・子ども活動応援 メンバー登録をした子どもや若者へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメールでの相談や質問に対応し子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。コ月1でオンライン・事務所でメンバーが集える場の提供と、オンラインで活動相談ができる場も実施した。 ▼おしゃべりナイト(オンライン)の実施 メンバーの質問や悩みに応えたりメンバー同士の交流を図るための定期的な交流イベント ▼オフィスボランティアデーの実施 ボランティア作業をしながら、メンバーの質問や悩みに応えたりメンバー同士の交流を図ったりするための定期的なボランティア&交流イベント ▼オンライン活動相談会 社会課題の解決のために行動を起こそうとしている子どもメンバーが、活動に関する相談や悩みを話すことができる場	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	1,000
	15件のアクションが採用され、計33名の子ども・若者がプログラムに参加し、それぞれが自ら発案した活動を行いました。6件が個人、その他は2人以上での参加となりグループ参加が増えました。開催したイベントへの参加者は計539名となり、過去最多となりました。	1月～ 12月	オフライン およびオンライン	539人	1,450
スタディツアー	日本の子どもや若者がFTCJの国際協力の現場を訪問し、支援先の子どもと交流したり、国際問題について考えたり、NGOの活動を学び、自分ができることを考えられるようプログラムを提供。ノートルダム女学院高校の高校生に対してもフィリピン研修を行った。	3月、8月	インド・コルカタ、フィリピン・マニラ及びオロンガポ市	49名	4,000

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的：国際問題や国内の社会課題、子どもの権利、ウェルビーイングについての理解を広げ、子どもをはじめ多様な人々が学びを行動につなげることで、誰一人取り残されない世界の実現に向けた社会的変革を促すことを目的とする。

内容：

- ・ 出前授業・研修・子どもの意見聴取：156回実施（対面・オンライン形式）・対象人数：11,863人
- ・ FTCチェンジメーカー教育プログラム（教材開発・全国展開・キャンペーンキット開発・既存教材改定）
- ・ 出版、資料作成
- ・ 物販（フェアトレードチーム）
- ・ イベント
- ・ ニュースレター・メールマガジン発行、ホームページ構築・更新
- ・ 事務所訪問や問合せ対応

◆助成協力：大東建託グループみらい基金、達合・愛のキャンパ、日本財団

・ 出前授業・研修・イベント実施活動

日時	講演先（学校・企業・団体）	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	講演テーマ内容	事業費 (千円)
2025年 1月～12月	学校（小・中・高校・大学・その他） 55ヶ所	全国	7,459	国際理解教育、国際国内問題・キャリア教育・人権教育・ウェルビーイング・リーダーシップ・チームビルディング	5,562
2025年 1月～12月	自治体、行政（こども家庭庁含む）など 67ヶ所	対面・オンライン（全国）	3,037	人権教育、ファシリテーター、ウェルビーイング	
2025年 1月～12月	団体、企業、他組織主催イベント、活動報告会など FTCJイベント等での講演 34ヶ所	対面・オンライン（全国）	1,367	国際問題・国内の社会課題・キャリア教育・人権教育・ウェルビーイング・リーダーシップ	

・ ファシリテーター養成講座、子どもの意見聴取、子ども会議運営など

活動名	活動内容	実施 日時	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
自治体との連携	・ こども家庭庁主催：こども意見聴取ファシリテーター養成講座の講師：9回務める。意見聴取サポートも実施。 ・ 子ども会議のコーディネーター・伴走 5団体 ・ 自治体子ども向け権利イベント 企画監理 8回 ・ 講演会・研修開催 35組織 ・ 権利条例冊子の監修 2つ	通年	全国	自治体・団体の責任者など（人数は教材・出前授業を含む） 及び、北海道、青森県、仙台市、東京都、世田谷、渋谷、川崎市、新潟市、愛媛県、熊本市の主に小・中・校生（約30,000人）	4,000
他組織との連携	・ 国立成育医療研究センター ・ ソシオテック株式会社 ・ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング ・ YMCA ・ 教育委員会 複数	通年	全国		

・ FTCチェンジメーカー教育プログラム（教材開発・教職員対象プログラム・キャンペーンキット・教材改定）

活動名	活動内容	実施 日時	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
教材開発・改定	①子どもの権利チケット・カードゲーム ②子ども兵士・コンゴ民主共和国 ③FTCチェンジメーカー教育プログラム更新 ④アイスブレイク集	通年	東京 事務所	教職員・自治体職員、及び全国のこどもなど 12000人	4,200
教職員対象プログラム	教職員など学校関係者や青少年育成団体向けに ①メールマガジン発刊 ②相談対応	通年	全国	教職員・団体の責任者など 100人	300
キャンペーン キット	年間行事と合わせ、キャンペーンキット活用を促進 学校別オリジナルキット作成・活用200冊	通年	全国	国内外の人々 約2,000人	500

・ 出版、物販、広報、ニュースレター・メールマガジン発行、ホームページ構築・更新

活動名	活動内容	実施 日時	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
出版	他組織と連携し、学校教育や子どもの権利に関する書籍への執筆	通年	全国	教育関係者、一般	300
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など	通年	東京 事務所	子ども、一般	1,200
ニュース レター・ アニュアル レポート発行	2024年度アニュアルレポート発行 サンクスレターの発行	5月 12月	東京 事務所	各号750部 印刷	500
メルマガ 発行	月に2回発行、臨時メール発送年6回	通年	東京 事務所	国内外の人々 約7,000人	500

ホームページ 更新・作成	子ども向けサイト、団体サイトリニューアル 1日平均400view程度7ヶ所あり	通年	東京 事務所	国内外の人々	1,500
-----------------	--	----	-----------	--------	-------

・問い合わせ及び事務所訪問対応

活動名	活動内容	実施 日時	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
問い合わせ対応	基本オンラインで対応し、希望者のみオフィスでの訪問体を実施。団体説明等。	通年	東京 事務所	40	100

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2025年度参加・構築したネットワーク>

・JNNE（教育協力NGOネットワーク）：開発途上国の子どもへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行っている。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしている。

・児童労働ネットワーク（CLネット）：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを展開。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・広げよう！子どもの権利条約キャンペーン：子どもの声を政策決定者に届けることを目的として「子どもメガホンプロジェクト」を開始。

FTCJからも子どもメンバーが複数参加し、国会議員との対話に参加。

・フェアトレードタウン世田谷推進委員会：世田谷区をフェアトレードタウンに認定されること目指し設置されたネットワーク。

■が理事を務めている。

・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

団体のビジョンを達成し、より良い組織運営や社会問題に取り組む組織との情報交換のため新公益連盟への加盟や関西NGO協議会、日本NGOセンターなどのネットワーク、SDGs市民社会ネットワークに参加した。

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE	▼SDG4教育キャンペーン2025事務局及び子どもユース育成活動：「SDG4教育キャンペーン2025」の事務局を担い、政党への教育政策アンケートと市民投票、政策提言のため18名の子ども・ユースを育成。5100名から集まった声を国会議員や関係省庁へ届け、意見交換を行った。さらにTICAD9の公式イベントで提言を発表し、教育の未来に向けた子ども・若者の声を国内外に届けた。 ▼JNNE実行委員活動：すべての人が教育を受ける権利を保障することをめざし、国際的に教育協力に取り組む団体が加盟する「教育協力NGOネットワーク（JNNE）」において実行委員団体を担い、情報交換・ネットワーク形成、国内外の教育協力に関する調査研究や能力強化研修、政策提言やキャンペーンを実施	通年	全国オンライン	5,100	3145
CLネット	「ストップ！児童労働 キャンペーン2025」を主催し、児童労働問題の意識啓発を行った。 展開内容： ・オンラインイベント開催 ・レッドカードアクション ・Twitterフレームを活用した児童労働・SDG8.7に関する周知	通年	全国	—	500
広げよう！子どもの権利条約キャンペーン、その他子どもの権利関連ネットワーク	国連子どもの権利条約制定30年の節目の2019年に子どもの権利保障を目指しNGOでネットワークを設立。FTCJは実行委員として関与している。子どもメンバー等とともに「子ども基本法」が社会に根差し、子どもの権利が実現するための活動や子どもの声を聴くイベント開催、その重要性を考える啓発活動に取り組んだ。12月には鹿児島での子どもの権利条約フォーラムに参加し、2026年度に開催予定の岐阜でのフォーラムに向けて準備を行った。	通年	全国	2,000	3,770
フェアトレードタウン世田谷推進委員会	世田谷のフェアトレードタウン認定を目指して世田谷区民及び世田谷区にある団体などでネットワークを構築。2025年4月末にて解散し、フェアトレード情報プラットフォーム「#フェアトレード世田谷」に移行。本プラットフォームを利用して、2025年10月26日「せたがや産業フェスタ2025（物販）」参加。ほか、スタディツアーの広報などにSNSやメーリングリストを利用した。	通年	世田谷区	10,000	200
にいがたNGOネットワーク	新潟県の国際協力や国際交流の活性化のためのNGOを中心としたネットワークに、FTCJとして参加。ニュースレターやウェブサイトを通じて国際協力に関する情報を発信した。	通年	新潟市	新潟県内の人々100	600

5) Free The Childrenプログラム（自立支援事業・緊急支援事業）

◆目的：貧困や紛争などによって権利を奪われ、困難な状況に置かれている開発途上国（フィリピン、インド、ケニア、コンゴ民主共和国など）の子どもたち、そして日本国内の子どもたちが、心身ともに健やかに過ごし、自らの力で未来を切り拓けるよう支援することを目的とする。

◆活動内容：上記の地域において、子どもたちが貧困や差別から解放され、自立へと歩むための包括的な支援事業を展開する。また、災害や紛争などで深刻な被害を受けた地域に対しては、緊急支援および復興支援を迅速に実施する。

◆助成・企業寄付協力：大東建託グループみらい基金（国内）、公益財団法人ウェスレー財団（インド）、サンタパレード東京（フィリピン）、㈱サックスパーホールディングス（国内）

海外事業（国際協力）

<フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
先住民族の子どもへの教育支援	ミンダナオ島の先住民族の村に暮らす子どもたちの、教育環境整備に向けた支援事業。小学校へのトイレ設置と修繕事業を、現地パートナー団体KPACと共に実施。教員用トイレ1つと、児童向け男女1つずつ計3つのトイレを設置し、保健衛生教育についても実施した。	通年	ミンダナオ島	先住民族の子ども約45人+教員4人	200
ブレダ基金を通じた子ども支援・貧困地域への自立支援	フィリピン・ルソン島サンパレス州オロンガボ市で活動する現地パートナー団体ブレダ基金を通じた、性的虐待・搾取を受けた少女、路上や刑務所から救出された少年、先住民族アエタの貧困コミュニティの自立支援事業。フェアトレード商品の収益は、ブレダ基金が運営する子どもたちの保護施設に寄付。先住民族アエタの貧困コミュニティにある小学校で給食支援を行うために、ペンパルサポーター事業とクラウドファンディングを実施。	通年	ルソン島を中心としたフィリピン	救出保護された子ども100人、アエタ民族の子ども160人	480

<インド支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
西ベンガル州 CCD 支援事業	現地パートナー団体CCDを通じて、インド・西ベンガル州の貧困家庭で暮らす子どもが学校に通い、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援する事業。貧困地域への収入向上支援と、子どもの権利が保障されるためのワークショップを、現地パートナー団体CCDを通じて実施した。	通年	西ベンガル州	西ベンガル州コルカタ周辺貧困地域の40世帯	1,000
マハラシュトラ州ムンバイ郊外貧困地域の子ども教育支援	マハラシュトラ州の州都、ムンバイ郊外にある貧困地域の子どもへの教育支援について、現地を訪問し事業の経過をモニタリングした。現地パートナー団体NEWTと、貧困地区に暮らす子どもを対象とした、新たな学校建設事業について協議を進めた。	通年	マハラシュトラ州	1年生～10年生まで375人	400

<ケニア支援事業・コンゴ支援準備>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
ケニア先住民族支援事業	ケニアナロック群南ナロック県のマサイ民族やキクユ民族に対して、コロナ感染を予防・治療するためのモバイルクリニックを通じた支援を実施。特に、子どもや妊産婦への健康向上・維持のための保健医療支援を行った。また、女子教育への理解が低い地域があるため、啓発を行うとともに、貧困家庭の女子が質の良い中等教育を受けられるよう奨学金支援を行い、女子への中等教育支援に注力した。	通年	ケニアナロック群南ナロック県先住民族コミュニティ	約1200人	300
コンゴ民主共和国支援	現地パートナーのミシェル・チクワニネ氏及び協力団体であるPRWOPと共に、キブ州の貧困農村コミュニティにて収入向上のための農業研修事業を行う計画をしていたが、紛争が激化したため緊急支援として食糧や物資65万円分の支援を行った。紛争下ではあるが、農業研修事業再開に向けて農地を購入した。	通年	コンゴ民主共和国キブ州	20世帯	700

国内事業

<国内の子ども支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
経済的困難を抱える家庭の子ども支援（スカラシップ制度）	経済的な理由などでキャンプなどのプログラムへの参加をあきらめざるを得ない小学5年生～18歳を対象に参加費無料とし、交通費の全額補助を行い、支援を行った。夏休み4日間は国立中央青少年交流の家（静岡県御殿場市）にて6名、冬休みは1泊2日で高尾の森わくわくビレッジ（東京都）にて対面にて6名を対象に実施した。 ※子どものサポートスタッフ育成はアドボカシー事業を含む また、経済的理由などで海外スタディツアーへの参加が難しい高校生世代4人を対象にした支援プログラムの構築を行った。	8月、12月	国立青少年の家、高尾の森わくわくビレッジ	16人	2,145
経済的困難を抱える家庭の子ども支援（入学・入園・進級応援金）	ひとり親家庭や新型コロナウイルスの影響を受けた世帯、その他様々な理由で家計がピンチな状況にある世帯で、2025年2月に入学・進級する3人以上の子育て家庭で、新学期の準備金の支援が必要な世帯を対象に支援金を贈る「応援金サポート」を実施。受付開始後すぐに500名以上の方から応募があり80世帯の方に応援金の贈呈を行った。	2月～4月	全国	80世帯（240人以上）	1,400

6) Change Makers Fes事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

Change Makers Fes（チェンジメーカー・フェス）は、人や地球のことを考え、ボランティア等に取り組んでいる25歳以下の子ども・若者を無料で招待し、彼らのアクションを祝い、これからの活動にエールを送るライブイベント。

【目 的】

- ①参加者の子どもや若者が、多様な立場に置かれる人々や異なる価値観を理解し、一人ひとりが尊重されることの大切さを感じ、彼らの自己肯定感を高める。
- ②参加者の子どもや若者が、SDGsに紐づく国内外にある社会問題を知り、それらの問題と自分自身が繋がっていることに気づき、自分ができることを考え、行動できる素地を養えるようにする。
- ③参加者の子どもや若者が、自分が動くことでより良い変化を起こせると感じ、彼らの自己効力感を高める。

◆助成・協賛・後援・協力

助成：大東建託グループみらい基金

協賛：株式会社パワープロジェクト、ビーダブリューアールスポーツ株式会社、株式会社勤労食

後援：熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、独立行政法人 国際協力機構（JICA）、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター、東京ボランティア・市民活動センター、認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター

協力：公益社団法人 ガールスカウト日本連盟、公益財団法人 日本YMCA同盟、広げよう！子どもの権利条約キャンペーン、Lasting Peace Project、一般社団法人 OSAKAあかるクラブ、公益財団法人大阪YMCA、フェアトレードシティくまもと推進委員会

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
Change Makers Fes2025	【イベント名】チェンジメーカー・ミートアップ2025 ～集まれ、まだ見ぬ仲間たち。～ 【日 時】2025年12月21日（日） 【会 場】大阪（大阪YMCA）、熊本（熊本市国際交流会館）、オンライン（Zoom） 【参加者数】25歳以下114人+26歳以上約40人 【対 象】 社会をより良くしたいという思いのもと、平和、貧困、教育、国際協力などの社会課題に対して、ボランティア活動や探究学習、発信など何らかのアクションを行っている25歳以下の子ども・若者。 【実施内容】 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、社会課題に向けて行動する25歳以下の子ども・若者114名が集う交流イベント「チェンジメーカー・ミートアップ2025」を、大阪・熊本・オンラインの3拠点をつないで開催した。本イベントは、2021年より継続してきた「チェンジメーカー・フェス」から発展した取り組みで、5年目となる今回は、参加者一人ひとりが主役となる交流型プログラムとして実施。「Peace start with us ～平和は私たちから始まる～」をテーマに、U25チェンジメーカーによるスピーチや、XXXXXXXXXXらゲストのメッセージ、特別プログラム「原爆体験伝承漫才」を通じて、平和や国際課題について多角的に考える機会を提供した。会場別の対話型ワークショップや交流会では、参加者同士が互いの活動や思いを共有し、仲間とつながる時間を創出。世代や地域を超えて想像力とアクションの力を確認し合い、「一人ひとりの行動が社会を変える力になる」ことを実感できるイベントとなった。	通年	大阪/熊本/オンライン(東京)	150人	3,699

7) 管理部

管理・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	5	10
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の研修を受講	通年	東京	10	0
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	3	100
ファンドレイジング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、報告会の実施、googleアナリティクス運用などを実施 マンスリーサポーター増加のためにキャンペーンを実施した。	通年	東京	3	350
広報・ブランディング	広報が担当となり、計画的な広報を実施	通年	東京	3	630
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	300
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	1170
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	30
その他	事務局運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	16

【活動のご協力】

◆助成協力：東京都 正規雇用等転換安定化支援助成金

【理事兼任】

: 全事業
 : 全事業
 : アドボカシー事業
 : 個人情報管理システム構築
 : チェンジメーカー・フェス、関西での活動
 : チェンジメーカー・フェス

【事務局体制、役割報告】

: 子ども主体・子ども活動応援・アドボカシー・Fes
 : 会計・総務・国内子ども支援
 : 子ども主体・子ども活動応援・アドボカシー
 : アドボカシー・広報
 : 海外事業（国際協力）・アドボカシー事
 : アドボカシー・海外事業（国際協力）
 : 子ども活動応援事業、外部ネットワーク
 : 子ども主体・子ども活動応援・アドボカシー
 : 渉外、ブランディング
 : ブランディング
 : チェンジ・メーカーフェス
 : スピーカー・広報

【2025年度インターンご紹介】

子ども家庭庁、子どもの権利条約フォーラム：

海外自立支援事業：

【事務局ボランティアご紹介】

:
 : スピーカー・ファシリテーター

メディア掲載一覧

2025年1月～12月にメディアなどで配信・紹介されたFTCJの活動です。（人物の肩書・役職・苗字は掲載当時のものです）

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	ONE WORLD English Course (教育出版・中3英語教科書)	FTCを創設したクレイグ少年の物語が巻末に掲載されています。
2025.2.14	Seventeen (株) 集英社・WEB版)	本年のチョコレートプロジェクトをご紹介いただきました。
2025.3.6	コープ自然派事業連合「ポストティ」(第51号)	当団体理事・関係者が執筆した「こども基本法 こどもガイドブック」(子どもの未来社)を特集記事で紹介いただきました。
2025.3.14	東京新聞	第55回博報賞(独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動領域)受賞団体として紹介記事を掲載していただきました。
2025.4.25	Acid Canvas	動画 記事□イリビンの児童労働(性搾取)問題に関するドキュメンタリー動画の取材に協力致しました。
2025.4.25	「だいじょうぶ!一勇気を出せば、世界はもっと広がるー」(フローラル出版)	が推薦文を寄稿致しました。
2025.10.10	エフエム世田谷「Bee Up! Setagaya」	が「Trash? or Treat? ～ゴミ? ごちそう? ～ 2025」を告知致しました。
2025.12.13	テレビ熊本「若っ人ランド」	「チェンジメーカー・ミートアップ2025」の告知を放映いただきました。
2025.12.20	歴史地理教育2026年1月号(No.994) ((一社) 歴史教育者協議会)	が寄稿致しました。(記事内の「児童労働」の解説はこちら)
2025.12.31	教育ジャーナル Vol.31 2025年 (株) Gakken)	第55回「博報賞」受賞(独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動領域)受賞団体としてティイク・アクション・キャンプの活動内容についてご紹介いただきました。

8.会議の開催

(1) 総会

通常総会(2025年度)

(ア) 開催日時及び場所

2025年3月16日(日) 13:00～(12:50受付開始)

会場: EF Tokyo/オンライン

(イ) 議題

1. 議長及び議事録署名人(2名)の選出、総会定足数の確認

2. 議案の協議決定

第1号議案

2024年度事業報告書(案)と2024年度活動計算書(案)に関する事項

第2号議案

2025年事業計画(案)と2025年活動予算書(案)に関する事項

第3号議案

2023年財務諸表修正(案)に関する事項

(2) 理事会

第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2025年 1月16日(木) 14:00～16:00 オンライン開催

(イ) 議題

I.審議事項

1. 2025年度事業計画及び予算、役員と事務局体制

2. セーフガーディングに関する書類と体制について

II.報告事項

1. 2024年度収支及び事業報告

第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2025年 3月16日(日) 16:00～17:00 オンライン開催

(イ) 議題

I.審議事項

1. 代表理事、副代表理事長及び専務理事選任の件

第3回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2025年 9月30日(火) 11:00～12:30 オンライン開催

(イ) 議題

I.相談事項

1. 人員体制について

II.報告事項

1. 事業進捗及び、暫定収支活動報告の共有 / 関連資料I(会計資料)

2. 2026年事業について

第4回理事会

(ア) 開催日時及び場所

2025年 12月16日(火) 19:00～21:00 オンライン開催

2025 年度 活動計算書

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		180,000
正会員受取会費	180,000	
2 受取寄付金		22,765,523
受取寄付金	22,765,523	
3 受取助成金等		9,168,750
受取民間助成金	9,168,750	
4 事業収益		26,735,307
自主事業収益	26,735,307	
5 その他の収益		1,417,382
受取利息	34,937	
雑収益	1,382,100	
為替差益	345	
		60,266,962
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		23,547,729
給料手当	17,799,485	
賞与	2,967,290	
法定福利費	2,770,281	
福利厚生費	10,673	
(2) その他経費		31,067,056
期首商品棚卸高	270,275	
通勤費	148,964	
商品材料	166,869	
寄付・海外送金額	2,896,720	
業務委託費	8,865,925	
印刷製本費	614,762	
旅費交通費	7,026,778	
通信運搬費	2,338,827	
消耗品費	843,728	
水道光熱費	114,414	
地代家賃	1,156,572	
諸会費	179,587	
租税公課	2,200	
研修費	295,100	
支払手数料	1,232,922	
返還金	500,000	
新聞図書費	2,750	
広告宣伝費	4,193,231	
会場費	424,092	31,273,716
期末商品棚卸高	206,660	31,067,056
事業費計		54,614,785
2 管理費		
(1) 人件費		3,002,649
給料手当	1,977,721	
賞与	329,699	
法定福利費	692,561	
福利厚生費	2,668	
(2) その他経費		827,442
通勤費	16,551	
印刷製本費	24,792	
旅費交通費	2,326	

		通信運搬費	134,598
		消耗品費	143,453
		広告宣伝費	29,121
		水道光熱費	28,602
		地代家賃	289,140
		支払手数料	158,859
	管理費計		3,830,091
経常費用計			58,444,876
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			1,822,086
【C】経常外収益			
		前期繰越修正益	800,000
経常外収益			800,000
当期経常外費増減額□・・・②□			800,000
税引前当期正味財産増減額①＋②・・・③			2,622,086
		法人税、住民税及び事業税・・・④	70,000
		法人税・住民税及び事業税引き後	2,552,086
		前期繰越正味財産額・・・⑤	23,925,719
次期繰越正味財産額③－④＋⑤			26,477,805

2025年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】資産の部		
1 流動資産		
現金預金	29,901,993	30,824,625
未収金	715,972	
棚卸資産(商品)	206,660	
仮払金	0	
流動資産合計・・・①		30,824,625
2 固定資産		
(無形固定資産)		19,530
電話加入権	19,530	
固定資産合計・・・②		19,530
【A】資産合計①+②		30,844,155
【B-1】負債の部		
流動負債		
未払金	3,428,653	4,366,350
預り金	937,697	
流動負債合計・・・③		4,366,350
負債合計③		4,366,350
【B-2】正味財産の部		
前期繰越正味財産額	23,925,719	
当期正味財産増減額	2,552,086	
正味財産合計		26,477,805
【B】負債及び正味財産合計【B-1】+【B-2】		30,844,155

2025 年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年、7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法、人会計基準協議会)によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：計上はありません
- (3) 引当金の計上基準
引当金の計上はありません
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスに関する会計上の計上はありません
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理によっています

2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下の通りです

自 2025年 1月 1日 至 2025年12月31日 [税込] (単位: 円)

科目	子ども全体	子ども国際支援	外信わたり	アドボカシー	Fee	自立支援	合計
(1) 人件費							
給料手当	1,779,949	4,449,871	1,779,949	6,229,820	1,779,948	1,779,948	17,799,485
賞与	296,729	741,823	296,729	1,038,551	296,729	296,729	2,967,290
法定福利費	277,028	692,570	277,028	969,599	277,028	277,028	2,770,281
福利厚生費	1,067	2,669	1,067	3,736	1,067	1,067	10,673
人件費計	2,354,773	5,886,933	2,354,773	8,241,706	2,354,772	2,354,772	23,547,729
(2) その他経費							
期首商品棚卸高	0	0	0	270,275	0	0	270,275
通動費	14896	37242	14896	52138	14896	14896	148,964
商品材料	0	0	0	166,869	0	0	166,869
寄付・海外送金額	0	195,642	0	0	0	2,701,078	2,896,720
業務委託費	0	1,375,386	4,192,589	3,180,163	117,787	0	8,865,925
印刷製本費	13,535	94,374	33,807	403,096	52,425	17,525	614,762
旅費交通費	169,144	4,154,801	416,132	1,895,025	183,732	207,944	7,026,778
通信運搬費	50,191	209,212	96,564	1,860,569	62,934	59,357	2,338,827
消耗品費	46,478	394,073	46,478	240,898	69,323	46,478	843,728
水道光熱費	11,442	28,603	11,442	40,043	11,442	11,442	114,414
地代家賃	115,657	289,143	115,657	404,801	115,657	115,657	1,156,572
諸金費	0	0	152,200	26,387	0	1,000	179,587
租税公課	0	0	0	2,200	0	0	2,200
研修費	0	0	0	295,100	0	0	295,100
支払手数料	0	300,755	123,970	432,548	119,373	256,276	1,232,922
返還金	0	0	0	0	0	500,000	500,000
新聞図書費	0	0	0	2,750	0	0	2,750
広告宣伝費	338,770	1,103,628	656,770	1,259,277	496,016	338,770	4,193,231
会場費	0	228,534	0	95,238	100,320	0	424,092
期末棚卸額	0	0	0	206,660	0	0	206,660
その他経費計	760,113	8,411,393	5,860,505	10,420,717	1,343,905	4,270,423	31,067,056
事業費計	3,114,886	14,298,326	8,215,278	18,662,423	3,698,677	6,625,195	54,614,785

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

(単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
【指定寄付金】					
テイク・アクション・キャンプ	0	2,200,000	2,200,000	0	テイク・アクション・キャンプスカラシップ特及びファシリテーター育成に充当
子ども若者企画・伴走イベント	0	1,800,000	1,800,000	0	子ども若者活動育成事業We are the MOVEMENT 事業に充当
出前授業・教材開発	0	3,500,000	3,500,000	0	全国の学校や団体への出前授業実施や教材開発費に充当
ウェルビーイング事業	0	585,310	585,310	0	国内外の子どものウェルビーイング向上にむけた支援のための事業に充当
Change Makers FES関連イベント	0	2,576,001	2,576,001	0	チェンジメーカー・ミートアップ実施事業に充当
フィリピン 自立支援事業	0	547,070	547,070	0	PREDAS支援 ¥700,000、KPAC支援 ¥308,078、現地視察旅費・事業費 ¥600,000
インド 自立支援事業	0	45,000	45,000	0	CCD支援 ¥220,000、Lima支援 ¥68,000、現地視察旅費・事業費 ¥800,000
ケニア 自立支援事業	273,000	155,000	100,000	328,000	WCF支援 ¥100,000、事業費 ¥80,000
コンゴ民主共和国(DRC)自立支援事業	0	24,885	24,885	0	DRC緊急支援事業に充当
教育支援	0	622,133	622,133	0	フィリピン支援事業に充当・インド支援事業に充当
水支援	124,348	84,300	208,648	0	フィリピン支援事業に充当
収入支援	0	5,000	5,000	0	インド支援事業に充当
保健支援	0	366,000	366,000	0	フィリピンPREDAS(給食栄養向上) 支援に充当
緊急支援プール金	980,000	30,504	600,000	410,504	DRC緊急支援 ¥500,000、事業費 ¥100,000
国内支援 (進級入学応援金)	1,230,767	1,846,499	2,135,909	941,357	※入学応援金2026年3月に充当予定
国内支援 (スタディツアー招待)	0	1,670,000	870,000	800,000	事業費 ¥870,000、残り2026年度スタディーツアースカラシップ特に充当予定
【助成金】					
デロイト・トーマツウェルビーイング財団	0	1,000,000	1,000,000	0	Every Child's Voice(ティーンボイス事業)
公益財団法人日本財団	0	5,970,000	5,970,000	0	子どもの権利普及事業に充当
通合・貴のカンパ2024年度	0	700,000	700,000	0	出前授業・教材開発事業に充当

大竹財団助成金	500,000	0	0	500,000	DRC情勢悪化に伴い2025返還
子どもゆめ基金		498,750	498,750	0	Change Makers FES 2024分
飯沼徹次郎アフリカ基金	1,000,000	0		1,000,000	DRC情勢悪化に伴う事業実施の一時保留により、助成金を継続保管
公益財団法人ウェスレー財団		1,000,000	1,000,000	0	2024-2025インド支援事業に充当
合計	4,220,000	23,727,702	23,855,956	2,479,861	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(無形固定資産)						
電話加入権	19530	0	0	0	0	19530
合計	19530	0	0	0	0	19530

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
事業費 人件費	23,547,730	6,773,819	0
管理費 人件費	3,002,649	0	0
活動計算書計	26,550,379	6,773,819	0

※給料手当には使用人兼務役員分も含まれていますが、支給対象者数が少ないため個人情報保護の観点から金額の明示を省略。

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当及び旅費交通費について従事割合に基づき按分

2025年度 財産目録

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

(単位：円)

科目	細目	金額	小計	合計
【A】 資産の部				
1	流動資産			30,824,625
	(現金預金)			29,901,993
	現金	現金	580,571	580,571
	小口現金	イベント用小口現金	67,225	
		関西小口現金	46,924	114,149
	普通預金	三菱UFJ銀行	26,623,528	
		PayPay銀行	241,335	
		ゆうちょ銀行	536,190	
		郵便振替	946,959	
		みずほ銀行	124,833	
		ゆうちょ銀行海外送金用	31,455	
		paypal	405,029	
		UFJアクションキッズ	1,093	28,910,422
	外貨	フィリピンペソ	153,361	
		インドルピー	113,247	
		USドル	6,844	
		カナダドル	9,443	
		ケニアシリング	9,706	
		モンゴルトゥグルグ	4,250	296,851
	(売上債権)			715,972
	未収金		715,972	715,972
	(棚卸資産)			206,660
	商品		206,660	
	仮払金		0	206,660
	流動資産合計・・・①			30,824,625
2	固定資産			
	(無形固定資産)			19,530
		電話加入権	19,530	
	固定資産合計・・・②			19,530
【A】 資産合計①+②				30,844,155
【B-1】 負債の部				
	流動負債			4,366,350
		未払金	3,428,653	
		預り金	937,697	
	流動負債合計・・・③			4,366,350
【B-1】 負債合計③+④				4,366,350
【B-2】 正味財産合計【A】－【B-1】				26,477,805

2025年度年間役員名簿（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ) 氏名	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	☒ 理事・ ☒ 監事	ナジマ サエ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中島 早苗		
2	☒ 理事・ ☒ 監事	ハラモ ノゾミ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		原元 望		
3	☒ 理事・ ☒ 監事	イゲノ ケイ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		出野 恵子		
4	☒ 理事・ ☒ 監事	トモ ヤスシ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		伴野 保志		
5	☒ 理事・ ☒ 監事	フジイ ユウコ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		藤井 裕子		
6	☒ 理事・ ☒ 監事	シガ アリカ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		志賀 アリカ		
7	☒ 理事・ ☒ 監事	ハヤシ ダイスケ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		林 大介		
8	☒ 理事・ ☒ 監事	ナジマ シンジ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中島 慎治		
9	☒ 理事・ ☒ 監事	マツタ コウジ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		松下 耕二		
10	理事・ ☒ 監事	ミヤジマ タマ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		宮島 珠		
11	理事・ ☒ 監事	クラタ ユウ	2024年1月1日 ～2024年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		倉下 由香		

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

	氏 名	
1	トモノ ヤスシ 伴野 保志	
2	ナカジマ サエ 中島 早苗	
3	イタクラ キョウコ 板倉 香子	
4	フジイ ユウコ 藤井 裕子	
5	イデノ ケイコ 出野 恵子	
6	アサダ ハコ 浅田 紀子	
7	ミヤジマ タマ 宮島 珠	
8	タケウチ ミチコ 竹内 美紗子	
9	シガ アリカ 志賀 アリカ	
10	ハラモト マサシ 原元 雅史	
11	スギヤマ ススム 杉山 進	
12		